

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法 I (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2153
2. 授業担当教員	大橋 真由美		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育の理論と方法」「第二言語習得理論」を履修済みであることが望ましい		
7. 講義概要	日本語教育に携わる際、まず心がけなければならないことは、日本語を知ること、それをわかりやすく説明する技術が必要となる。 この講義では、日本語そのものについて学習し、それらがどんな特徴を持っているのかなど、日本語教育に必要な基礎知識を修得し、日本語教育を志す受講者の教授法における基礎力の育成を目指す。		
8. 学習目標	1. 日本語教師にとって、日本語はどのような言語かについて学び、日本語の言語的な成り立ちや他の言語との関わりについて理解し、説明できるようにする。 2. 日本語の音声・文法・文字・語彙などについて、日本語教師として現場での指導実践に役立てることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 各回ワークシートを配布し、それに沿ってペアワーク、グループワークを行いながら授業を進める。ペアワーク、グループワークの内容は授業後にワークシートにまとめ、授業の感想とともに次回の授業で提出する。 2. グループワークとして、2回の活動と発表を行う。(第7回、第13・14回)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2[増補改訂版] 日本語教授法入門』アスク出版、2016。 【参考書】「新・はじめての日本語教育」シリーズ (『DVD 新・はじめての日本語教育―初級の指導―』アスク出版、2008。 高見沢孟監修『新・はじめての日本語教育 1[増補改訂版] 日本語の基礎知識』アスク出版、2016。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語教師の仕事について理解できたか。 2. 日本語教師として、現場での指導実践に役立てるような活動ができたか。 ○評定の方法 [授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験(レポート) 総合点の30% 3 課題・発表 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	外国語としての日本語はどのようなものなのか、日本語を教えるということはどうことか、学習者の立場から考えてみてほしい。また、積極的に意見交換をしながら、効果的な教え方、練習など考えていくので、事前・事後学習もしっかり取り組んでほしい。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、 第1章「日本語教師の役割」	事前学習	日本語教師とはどのような職業か、役割や条件、理想とする教師像について考えておく。
		事後学習	教科書 pp.7～20 を読み、pp.20 課題 1 をする。
第2回	第2章「日本語を教えるということ」	事前学習	教科書 pp.21～42 を読み理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第3回	第3章「初級の教え方(1)」 1. 会話を教えるということ～4. 課の目的理解	事前学習	教科書 pp.43～48 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第4回	第3章「初級の教え方(1)」 5. 対話の指導、6. 補足語彙の指導	事前学習	教科書 pp.49～56 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第5回	第3章「初級の教え方(1)」 7. 文法用法説明の指導、8. 各種練習の指導(1)	事前学習	教科書 pp.57～64 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第6回	第3章「初級の教え方(1)」 8. 各種練習の指導(2)	事前学習	教科書 pp.64～74 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第7回	グループワーク： ロール・プレイ練習、タスク練習を作成し、発表	事前学習	グループワークに備え、アイディアをまとめておく。
		事後学習	発表内容、他のグループのコメントをまとめる (次回授業で提出)。
第8回	第3章「初級の教え方(1)」 9. 日本語における「練習」と転移、 10. 練習問題の指導	事前学習	教科書 pp.75～80 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。

第9回	第4章「初級の教え方(2)」 1. 文字教育を始める前に～3. 漢字の教え方	事前学習	教科書 pp.81～88 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第10回	第4章「初級の教え方(2)」 4. パソコンの利用法、5. 日本語の表記	事前学習	教科書 pp.89～94 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第11回	第4章「初級の教え方(2)」 6. 誤用の指導	事前学習	教科書 pp.95～96 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第12回	第8章「評価と試験」 1. 評価の対象～5. 試験問題の種類	事前学習	教科書 pp.137～147 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第13回	第8章「評価と試験」 6. 試験の効果 グループワーク：試験作成	事前学習	教科書 pp.148 を読み、内容を理解しておく。 グループワークに備え、アイデアをまとめておく。
		事後学習	提出用の試験を作成する。
第14回	グループ発表：作成した試験について発表、 質疑応答、コメント	事前学習	発表準備をする。
		事後学習	発表内容、他のグループのコメントをまとめる。（次回授業で提出）。
第15回	これまでの内容の振り返り	事前学習	教科書、学習内容を復習しておく。
		事後学習	教科書、ワークシートを復習し、期末試験の準備をする。
期末試験			